

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 18 日作成)

小委員会名	湿気小委員会	主 査 名：銚井修一 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (熱環境運営委員会)	委員長名：加藤信介 主 査 名：坂本雄三
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湿気関連分野の研究者数、研究発表件数は小委員会規模にまで増加しており、また日本独自の研究テーマ・成果も多く、これらの継承と進展を図ることが基本的な目標である。2 年間の具体的な目標を次の 2 項目とする。 1) 未解決重要テーマについて討議するため SWG 設置を計画する。 2) 今後の湿気研究を見据えて、「熱シンポジウム」の開催に向けての検討を行う。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：公募委員 2 池田哲朗(近畿大学) 岩前 篤(近畿大学) 水畑雅之(広島国際大学) 銚井修一(京都大学) 小椋大輔(京都大学) 尾崎明仁(北九州市立大学) 坂本雄三(東京大学) 佐藤真奈美(大阪工業大学) 鈴木大隆(北海道立北方建築総合研究所) 本間義則(岩手県立大) 荒井好延(鹿島建設) 高田 暁(神戸大学) 永井久也(三重大学) 水谷章夫(名古屋工業大学) 土屋喬雄(東洋大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吸放湿材の評価・利用 WG：吸放湿材に関わる項目の整理、現在の研究の整理、吸放湿材の評価・利用に関わる問題の検討と整理 ・ 湿気と健康 WG：湿気と健康に係わる各種法律の検討、講演会開催、研究内容の紹介と質疑、総括 ・ 建物の「湿害」検討 WG：被害の調査・分類、被害発生メカニズム検討、湿害分類のキーワード・評価指標の検討、「湿害」の予測・防止法の検討 ・ 熱物質移動数値計算 WG：ベンチマークテストの実施、実験結果との対応、計算結果同士の比較、定量的評価手法の整理 	
2005 年度予算	162,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む) 各 WG における委員会回数は、計 12 回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 3 5 回熱シンポジウム 参加者数 115 名 (資料名) 第 3 5 回熱シンポジウム 「湿気研究の実用的展開」
大会研究集会	なし 参加者数
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 今後の湿気研究を考慮し、「熱シンポジウム」の開催に向けての企画・準備活動を行い、シンポジウムを実施した。 2. 4WG とともに活発に WG を開催した。また、その成果を熱シンポにて発表し、一般会員との意見交換を行った。 3. 結果的に、今年度は非常に活発に活動し多くの成果を得たと考えられる。
委員会活動の問題点・課題	1. 熱物質移動数値計算 WG において、会員参加のベンチマークテストを行ったが、そのやり取りと結果整理には予想以上に時間・手間がかかった。また、計算が複雑になるほど、ベンチマーク協力者が減少する。 2. ホームページを開設したいが、適切な人材(あるいは経費)の確保が難しい。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。